



# IXIL ハンドルセット・シリンダーセット・箱錠セット 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡してください。

## ■取付け上のお願

●本製品の鍵穴に、スプレー式潤滑油(CRC556など)やミシン油を注入しないでください。  
作動不良などの不具合の原因になります。万一鍵がスムーズに動かない場合は、当社指定の鍵穴潤滑剤または鉛筆の芯を粉状にして注入してください。

## ■梱包明細

※取付け前に必ず梱包内容をご覧ください。

### ■ハンドルセット(別途手配)

名称	入数	詳細
外側把手セット	1個	—
内側把手セット	1個	—
把手取付け部品	1セット	内側台座カバー／2個、皿小ねじM5×30／4本
ラッチ箱錠	1個	皿小ねじM4×16／2本

### ■シリンダーセット(別途手配)

名称	入数	詳細
シリンダー	1セット	シリンダー／2個、子鍵／5本、工事キー(コンストラクションキー)／3本

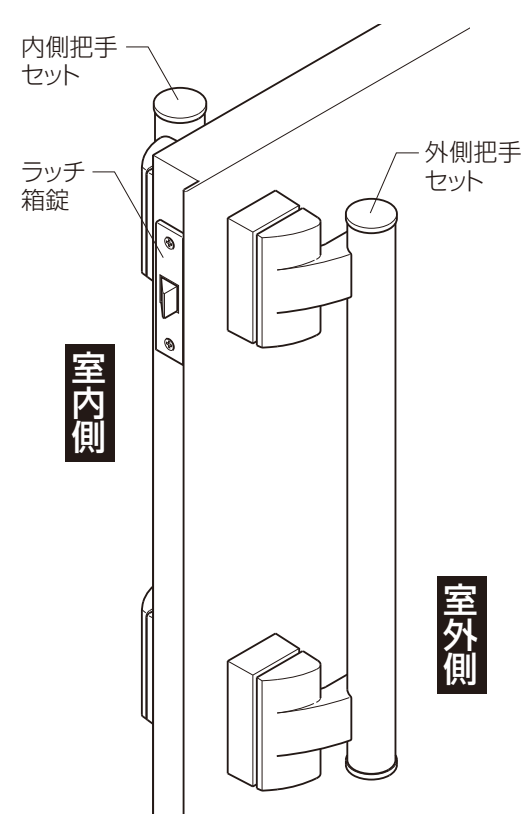
### ■箱錠セット

名称	入数	詳細
箱錠	2個	皿小ねじM4×12／4本
サムターン※1	1セット	サムターン／2個、皿小ねじM5×40／4本 <セキュリティサムターン仕様の場合> サムターン・セキュリティサムターン／各1個、皿小ねじM5×40／4本
取付け説明書	1枚	—

※1 エントリーシステムの場合は、「サムターン」は梱包されません。別途手配品エントリーセットに電動サムターンが梱包されています。

## ■取付け完成図

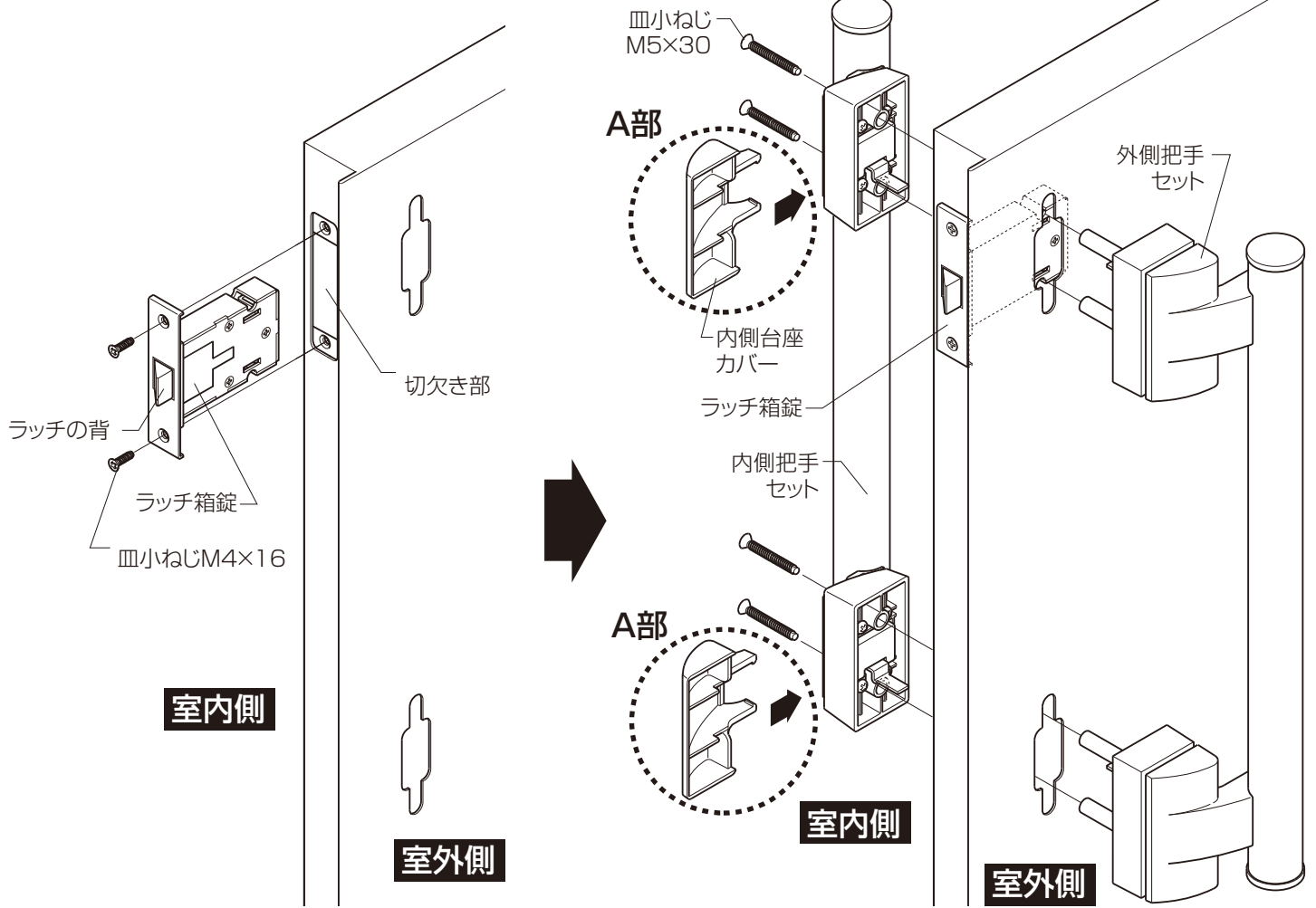
### 1 把手



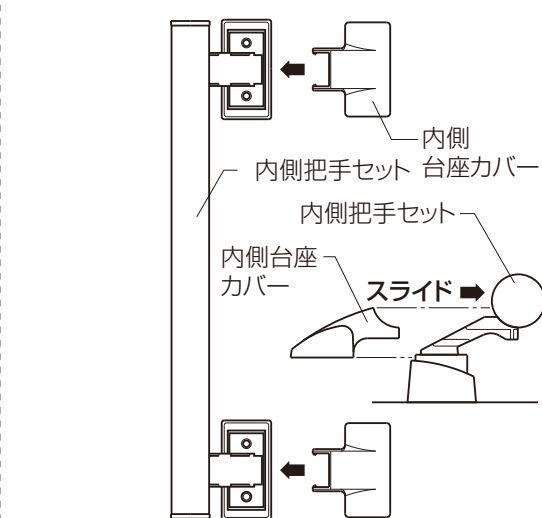
## ■取付け順序

### 1 把手の取付け

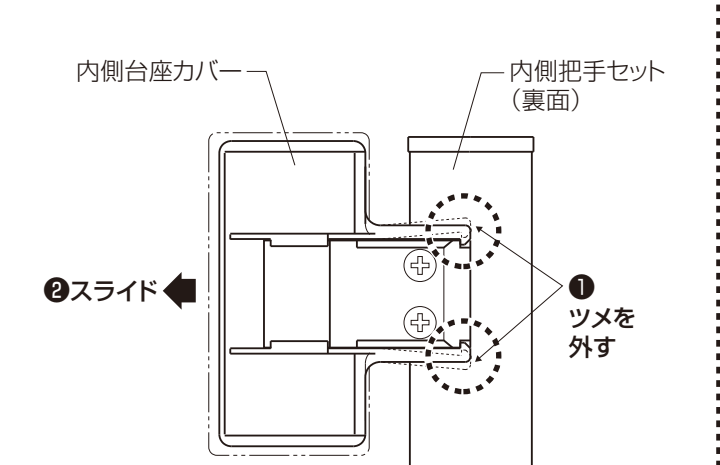
- ①ラッチの背を室外側に向け、皿小ねじで切欠き部にラッチ箱錠を取付けます。
- ②外側把手セットを室外側から差し込みます。
- ③内側把手セットを皿小ねじで固定します。
- ④内側台座カバーを内側把手セットに取付けます。



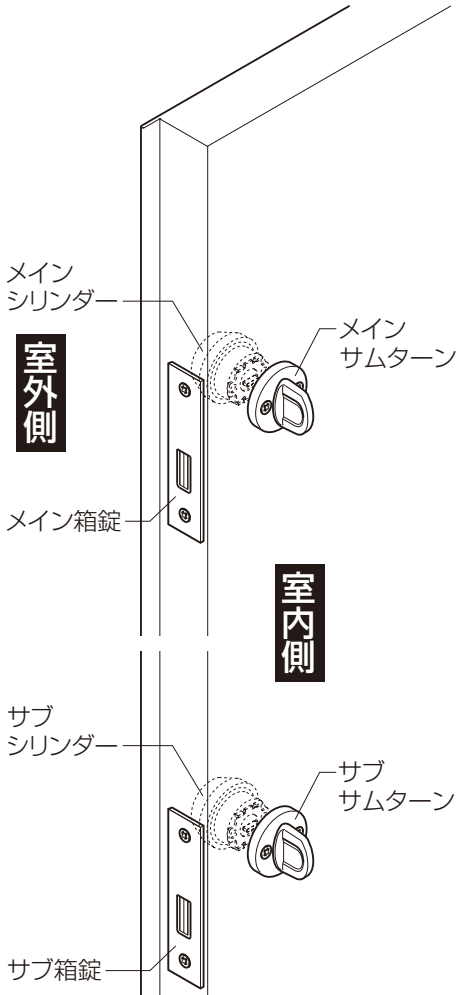
### ■内側台座カバーの取付け方(A部詳細図)



### ■内側台座カバーの外し方



2箱錠・シリンダー・サムターン



2箱錠・シリンダー・サムターンの取付け

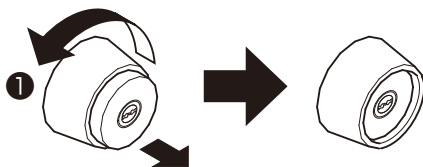
- ①皿小ねじで箱錠(上)を取付けます。
- ②皿小ねじで箱錠(下)を取付けます。
- ※箱錠に上下の区別はありません。

【WNキーの場合】

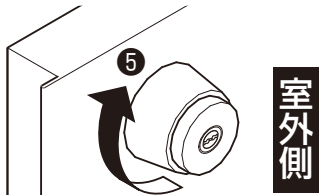
- ①シリンダーを箱錠の丸穴に差込みます。
- ※シリンダーに上下の向きはありません。
- ②サムターンを箱錠の丸穴に差込みます。
- ※サムターンのツマミは縦にしてください。セキュリティサムターンの場合は切替えレバーを通常モードにした状態でサムターンのツマミを縦にしてください。
- ③サムターンをシリンダーにねじ止めします。
- ※サムターンは縦のとき解錠、横のとき施錠です。
- ※セキュリティサムターンの場合は、取付け後同梱の操作方法ラベルをサムターンの下に張ってください。
- ※メイン・サブ用シリンダー、サムターンの区別はありません。

【DNキーの場合】

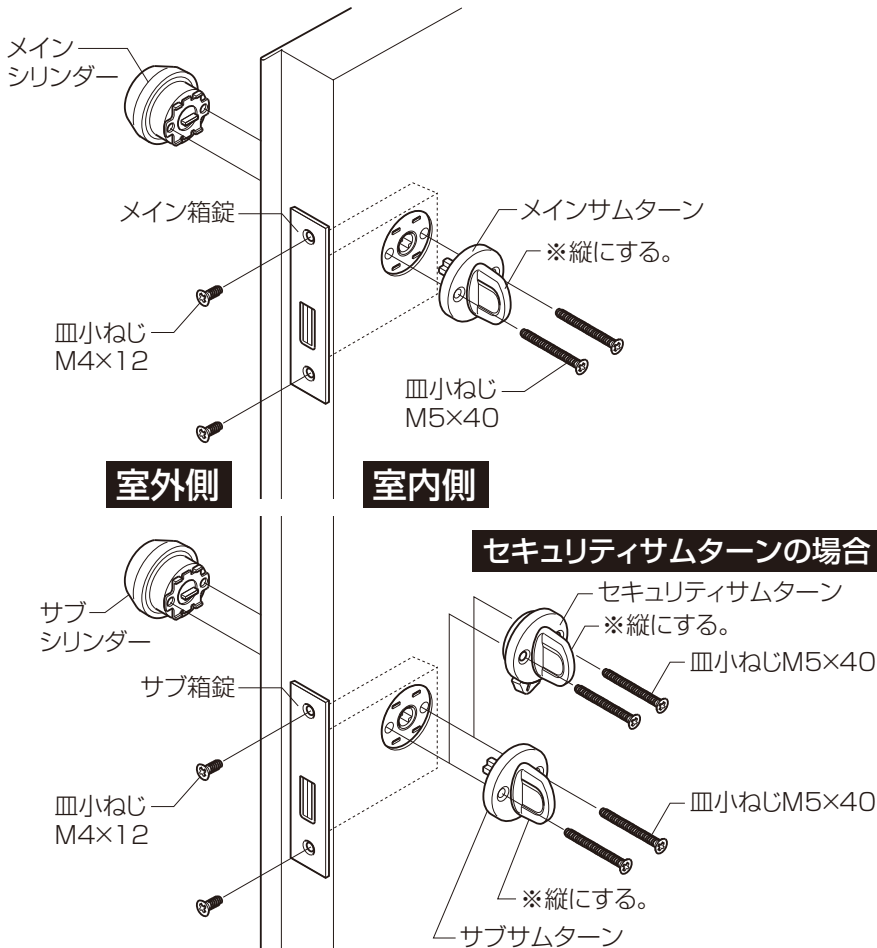
- ①シリンダー座を反時計回りに回し、シリンダー正面に移動させてください。



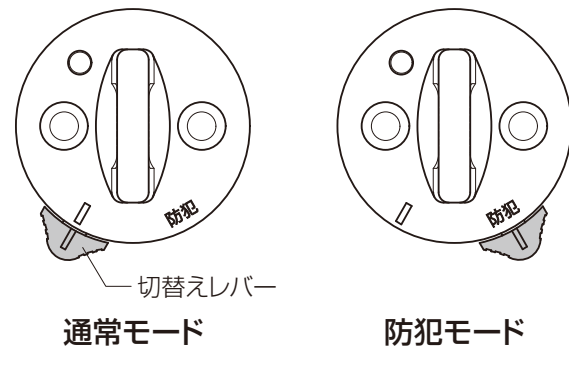
- ②シリンダーの刻印を上に向け、箱錠の丸穴に差込みます。
- ③サムターンを箱錠の丸穴に差込みます。
- ※サムターンのツマミは縦にしてください。セキュリティサムターンの場合は切替えレバーを通常モードにした状態でサムターンのツマミを縦にしてください。
- ④サムターンをシリンダーにねじで仮締めします。
- ※サムターンは縦のとき解錠、横のとき施錠です。
- ⑤シリンダー座をドアの表面に合わせ締め込み、仮締めしたねじを増締めします。



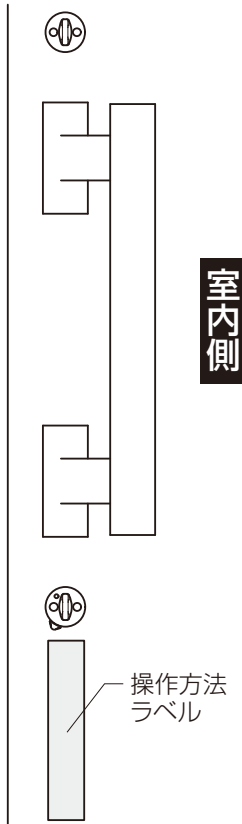
※セキュリティサムターンの場合は、取付け後同梱の操作方法ラベルをサムターンの下に張ってください。  
※メイン・サブ用シリンダー、サムターンの区別はありません。



■セキュリティサムターン詳細図



■操作方法ラベル張付け位置



■コンストラクション装置について(装置付きの場合)

- シリンダーにはコンストラクション装置が組込まれています。施工の際は、工事専用のコンストラクションキーをご使用ください。施工後、施主さま専用キーを使用するとコンストラクション装置が解除され、以降はコンストラクションキーでは施解錠できなくなります。
- 封印シールが張ってあるシリンダーにはコンストラクション装置が組込まれていないため、お引渡し時にシールをはがし、作動を確認してください。